

事例名：RFIDによる屋内位置情報サービス

ユーザ名：医療法人社団 札幌道都病院様

システム概要

利用者様・医療スタッフ・医療機器に取り付けたRFIDタグから発信した電波(ID)を院内に設置したRFID受信機が受信し、クラウドゲートウェイを経由で、リコー位置情報サービスに送られます。院内モニターで所在表示をしたり、動線データのレポートを提供することができます。

システム構成

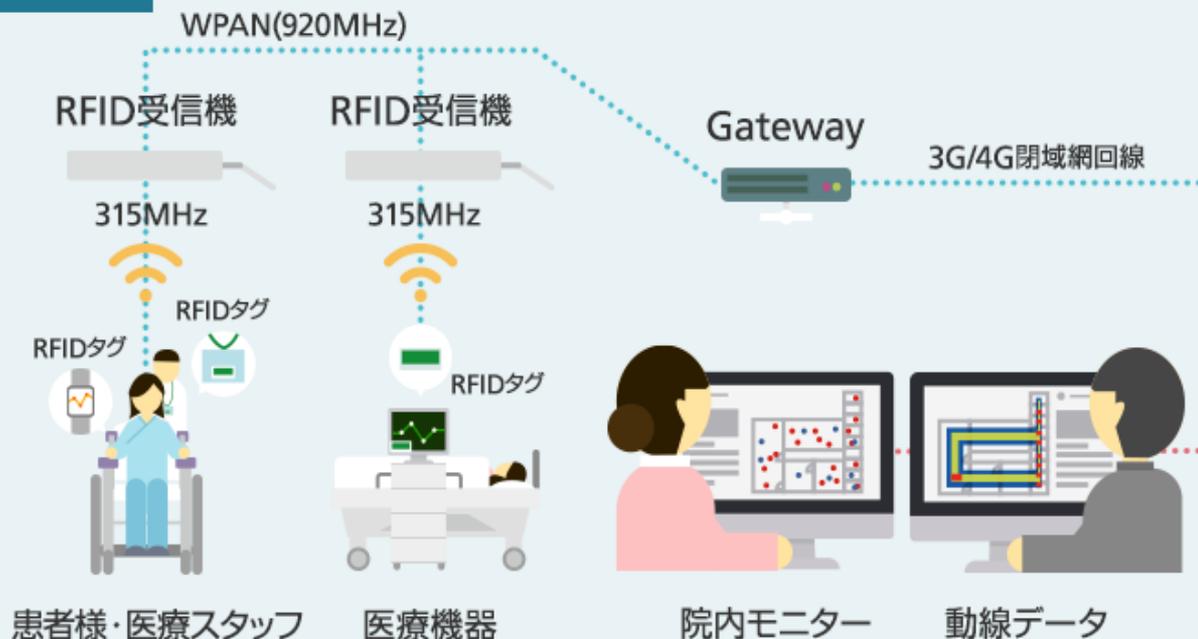
構成機器

- ・RFIDアンテナ
- ・クラウドゲートウェイ

情報媒体

- ・RFIDアクティブタグ

医療現場



クラウド



システムの特長

- ・315MHz帯及び920MHz帯を活用することで既設回線(Wi-Fi等)との混信を回避します。
- ・安全な閉域網を通じて、リコーのクラウドサーバーへデータをアップロードします。
- ・大掛かりなネットワーク工事は不要です。

導入の背景

- ・当院では、利用者様にとって負担を少なくするため、ベッドサイドでの治療や検査を増やしておりました。
- ・それに伴い、看護師は病室滞在時間が増えて、担当看護師へ連絡をするために、病棟内を捜し回ることが増えました。
- ・認知症の方を受けいれており、安全性配慮の面から、利用者様の位置把握の必要性も増えておりました。

課題

- ・処置のため病室に訪問しても利用者様不在の時があり、探すため非効率になっております。
- ・先生から担当看護師へ重要な指示を直接会って伝えたい時に、担当看護師が近くに居ない時があります。
- ・夜間はスタッフの人数に限られる為、緊急時の対応に不安がありました。

課題の解決

- ・利用者様の在室状況が常に把握できるため、効率良く訪問、回診が可能になりました。
- ・担当看護師の居場所が分かり適時のタイミングで連絡ができるようになりました。
- ・看護師、介護スタッフの居場所が把握できるため、夜間の緊急時の応援を求められるので不安が無くなりました。

解決の効果

- ・「利用者様やスタッフを探す」事が無くなり業務の効率化だけでなく、スタッフの負荷が大幅に軽減されました。
- ・利用者様の所在確認がすぐに出来るので安全性も高まり、ご家族の方からも評価をいただきました。
- ・職場の魅力向上に繋がりました。(札幌道都病院入職希望者向けの病院見学会後の入職希望の声が増えました。)

今後の展開

- ・利用者様、病院スタッフを対象に「探す」から「見える化」でスタートし、スタッフの業務効率化を実現できました。
- ・今後は外来への導入をすすめ、外来患者、入院患者、病院スタッフの動線分析を行って更なる業務効率化を目指します。

導入実績

- ・非公開

参考URL

- ・http://www.ricoh.co.jp/case/1707_sapporo-doto/

お問い合わせ先

株式会社リコー デジタルビジネス事業本部
センシング ソリューション センター
事業推進室 SS事業推進グループ
〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1グランパークタワー9階
TEL : 050-3534-3971
URL : <http://industry.ricoh.com/support/rfid/>